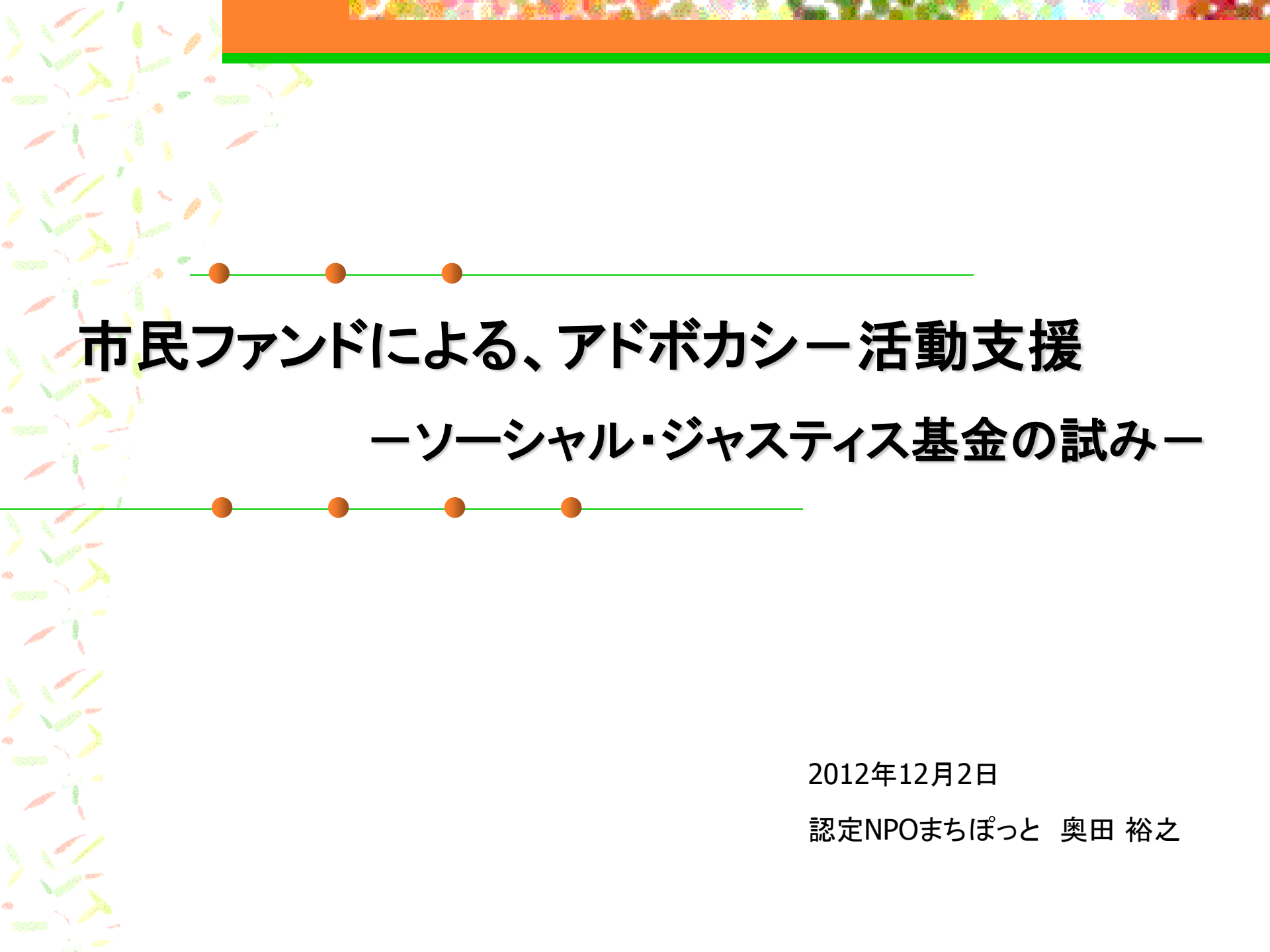




市民ファンドによる、アドボカシー活動支援 ーソーシャル・ジャスティス基金の試みー

2012年12月2日

認定NPOまちぽっと 奥田 裕之

認定NPOまちぽっと 主な2012年度事業

● 政策提案事業

- ・ 「非営利金融事業法」の提案 … (投融資による市民事業の支援)
- ・ NPO法制定の記録作成プロジェクト

● まちづくり事業

- ・ 討議民主主義、市民参加手法の比較研究
- ・ 国土交通省「新しい公共」の担い手による地域づくり調査事業

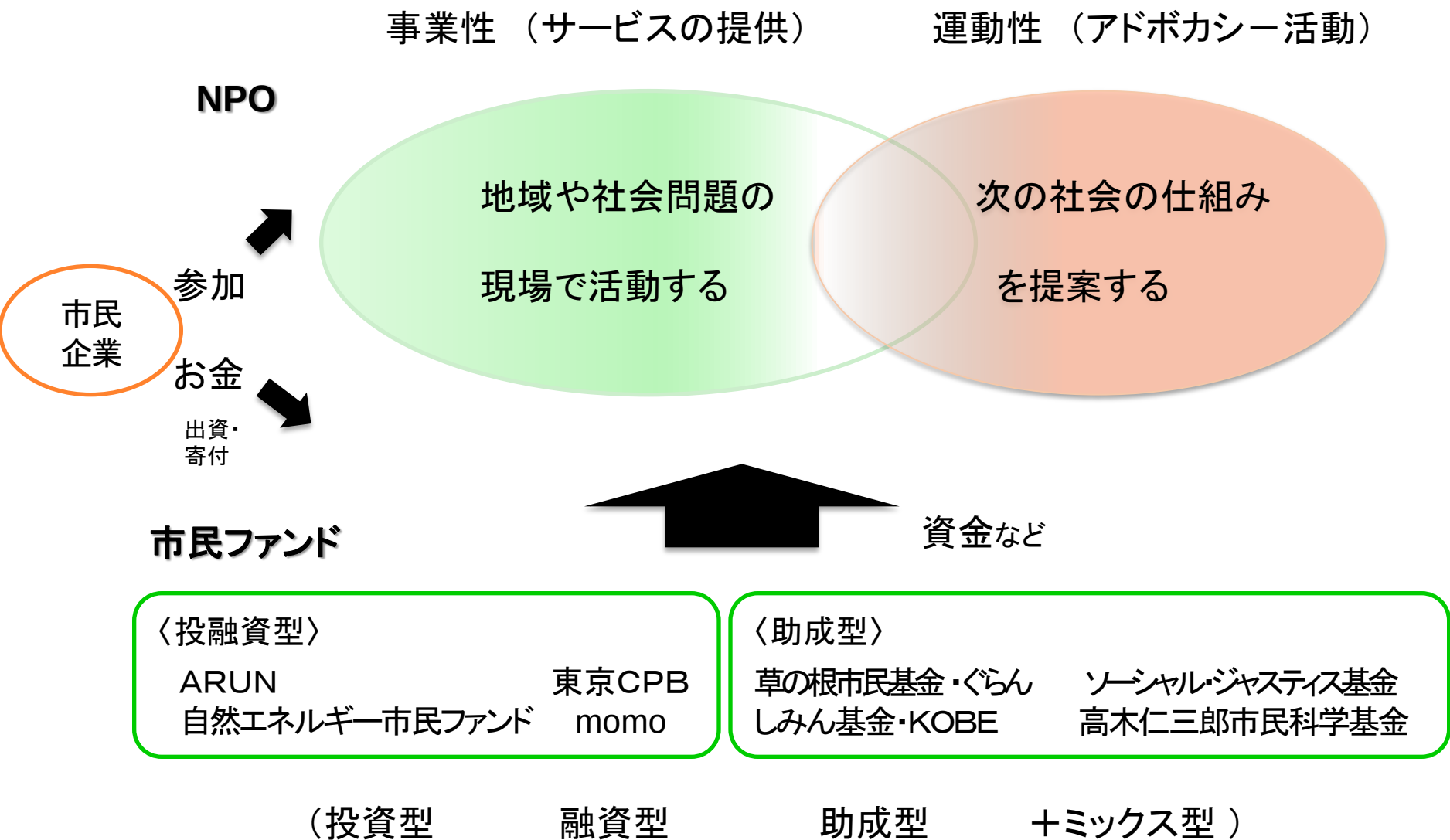
● これからの住まい方調査研究事業

- ・ もうひとつの住まい方推進フォーラム
- ・ 市民事業による住まいづくりを可能にする政策調査研究

● 市民ファンド事業

- ・ 草の根市民基金・ぐらん … (助成による市民事業の支援)
- ・ ソーシャル・ジャスティス基金
- ・ 非営利アセットマネジメント研究プロジェクト

NPOと、市民ファンドの役割イメージ



市民ファンドとは

…社会的な定義は定まっていないが

主に市民の資金を活用して、民間の社会的活動に助成や投融資をする、市民によって主体的に設置・運営された民間の仕組み

- 1) 寄付を原資に、助成するタイプ — 金銭的リターンはない
- 2) 寄付を原資に、リスクの高い事業等に投融資するタイプ
— 金銭的リターンはないが、低利の利息は存在する
- 3) 非営利の出資を原資に、投融資するタイプ
— 出資者に金銭的リターンはない、低利の利息は存在する
- 4) 出資を原資に、投融資するタイプ
— 出資者に金銭的リターンがある、利息も存在する
- 5) 以上のハイブリッド型

主な助成型市民ファンド

名称	特徴
草の根市民基金・ぐらん	東京での市民活動とアジア支援を対象 1993年 設立… 現存する日本最古の市民ファンド！
高木仁三郎市民科学基金	市井の市民科学者を生み出すことを目的
神奈川子ども未来ファンド	子ども、若者に関する活動を支援
しみん基金・KOBÉ	震災をきっかけに設立、神戸の非営利団体を支援する
地域貢献サポートファンドみんな	宮城県の市民活動を支援する
市民社会創造ファンド	企業の資金をもとに、広域の支援を行う
京都地域創造基金	公益財団法人として、地域社会を支援する
ソーシャル・ジャスティス基金	アドボカシー事業と社会対話を支援する 「社会変革型」市民ファンド
地域創造基金みやぎ	宮城県の復興に向けた支援活動

解決したい課題 / 実現したい社会

1) NPOのアドボカシー機能に、もっと注目すべきではないか

近年、ソーシャル・ビジネスに注目が集まり、様々な側面から社会的支援も行われている。この流れに、NPOのもう一つの役割「新たな社会のしくみを提案する」アドボカシー機能への支援を加えていくべき。

2) 社会の変化に市民が積極的に関わるには、多様なお金の流れが必要

日本社会が制度疲労をおこし次の姿を模索しているなか、様々な形での市民による「意識的なお金の流れ」の存在は、社会を動かす力を持つ。

3) 「社会の不公正」を、自分たちで是正できる仕組みをつくりたい

NPO活動の本質には、理不尽な状況にある人や物事を是正する目的がある。多くの人や企業がそこに参加しやすい仕組みが、未来に希望をつなぐために求められているのではないかな。

みんなをより良くするプロジェクト、はじめます。

ソーシャル・ジャスティス基金は、
いつも考えています。

社会的弱者のこと、
社会的不公正のこと、
日本の将来のこと。

なんとかしたい。

そのためにみんなと話し合いたい。

話し合って、
より良い社会、より良い日本を
創っていきたい。

だから私たちは支援します。

よりよい社会を創るために
がんばっている人たちを。



日本初の社会変革型市民ファンド

ソーシャル・ジャスティス基金

2011年11月設立、「社会正義」をテーマにした初めての市民ファンド

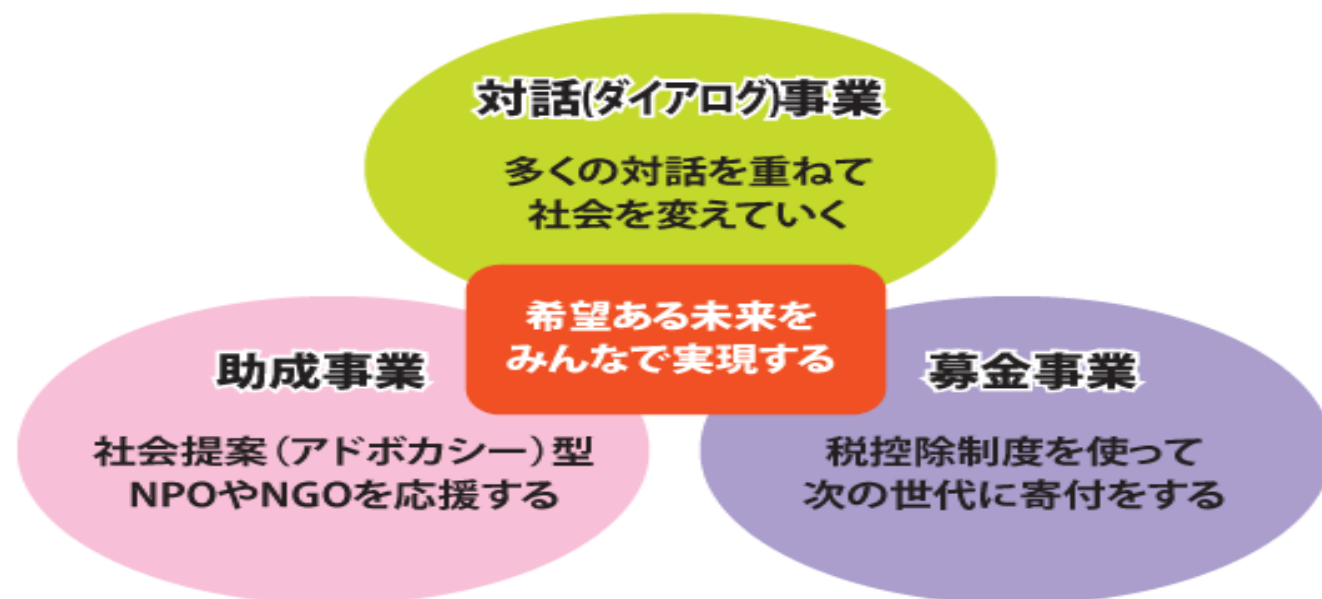
⇒ アドボカシー(社会提案)活動を行うNPOと、社会的対話を支援

⇒ 認定NPO法人の税優遇制度を活用し、「未来を創る」ご寄付を受ける

●助成事業

●募金事業

●ダイアログ事業



第1回 助成先団体



レインボープライド愛媛

地方都市・松山における性的マイノリティの理解を目指す社会対話の挑戦

同性愛や性同一性障がいなど、様々な性的少数者が自分らしく生活できる「多様性を認めあう誰もが生きやすい社会」を目指し、松山市で社会や行政・教育機関などへの働きかけを行っている

NPO法人監獄人権センター

刑務所出所者の社会復帰を促進する包括的な政策提言基盤整備

受刑経験者が社会復帰しやすい環境を実現するため、福祉団体、ホームレス支援団体など市民団体の経験共有と、政策提言基盤の整備を行う

多様な学び保障法を実現する会

子どもの多様な学びを実現するための立法を目指す活動

フリースクール、外国人学校、ホームエデュケーションなど、既存の学校に通う以外の、多様な子どもの学びの在り方、育ち方への政策提案

アドボカシーカフェ（2012年ダイアログ事業）

多文化共生（マルチカルチャーリズム）から、未来の日本社会を考える

石井宏明さん（難民支援協会）
大曲由紀子さん（移住労働者と連携する全国ネットワーク）
上村英明（SJF運営委員長、市民外交センター ほか）

原発事故のもとで成長する 子どもの権利を考えよう

吉野裕之さん（子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク）
荒木田岳さん（福島大学行政政策学部 准教授 ほか）
大河内秀人（SJF運営委員、原子力行政を問い直す宗教者の会 ほか）

有機農業の力と市民の力で 新しい共生を考える

菅野正寿さん（福島県有機農業ネットワーク理事長）
黒田かをり（SJF 副運営委員長、CSO ネットワーク事務局長）

ソーシャル・ファイナンス = 未来への投資

- 市民ファンドも、ソーシャル・ファイナンスの一つの形

リターンを求めて行う投資 ソーシャル・リターン > ファイナンシャル・リターン

- 社会の様々な可能性と、それに対応する多様なソーシャル・ファイナンス

市民、NPO、民間で、それぞれのミッションに沿ったソーシャル・ファイナンスが多様にあり、そこに多くの市民や企業が参加することが重要

- 市民ファンドは

市民や企業の持つ「金銭的な資本」を、主に市民社会の「人材的な資本」へ転換するための、ソーシャル・ファイナンスともいえる

⇒ その中で、ソーシャル・ジャスティス基金は、それぞれの立場の「社会正義」を議論しながら、「お金の流れ」と「未来への希望」を創っていく



ソーシャル・ジャスティス基金では
ご寄付やサポーター支援をお願いしています
<http://socialjustice.jp/>

認定NPO法人 まちぽっと

〒160-0021

東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル501号室

TEL: 03-5941-7948 FAX: 03-3200-9250

Eメール: info@machi-pot.org

NPOまちぽっとHP <http://machi-pot.org/>

草の根市民基金・ぐらんHP <http://citizensfund-grand.org/>